

## 地球温暖化対策等の推進に関するアピール

本年7月開催の北海道洞爺湖サミットでは、「環境・気候変動」が主要なテーマとなっており、地球温暖化をはじめとする気候変動問題は、地球に暮らす我々にとって、決して見過ごせない重要な問題であり、その及ぼす影響は計りしれない。このため、解決への取組は、世界共通の喫緊の課題となっている。

全国市長会は、平成17年6月、循環型社会の構築や温暖化対策の推進等を目指し取りまとめた提言「都市と環境—美しい日本、持続可能な社会を目指して—」に基づき、地球環境問題に取り組む「1億人の市民運動」の実現の一環として、平成18年以来、ごみの不法投棄根絶に向けた「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」を提唱し、その実践を全国の都市に呼びかけてきたところである。

また、各都市は、基礎自治体として地域住民の福祉向上を図り、潤いと活力ある地域社会を実現することが求められている。とりわけ、環境問題については地球環境を保全する観点から、自然・再生エネルギーの活用や公共交通システムの整備などを進めるとともに、事業者や地域住民と連携し、省エネを念頭においた自動車の運転や節電、マイバッグの積極的な使用によるレジ袋の削減、生ごみを有機堆肥としてリサイクルするなど、ライフスタイル・ワークスタイルの見直しを図り、できるところから環境保全への一層の取組を着実に実践していかなければならない。

このように地球温暖化対策等への都市のさまざまな取組を踏まえ、国においても、関係機関、企業、国民が一体となって、当面する温室効果ガス削減をはじめ地球温暖化等の対策を着実に推進し、美しい日本、持続可能な社会の構築に向けて、万全の措置を講じられるよう強くアピールするものである。

平成20年6月3日

全国市長会

「環境フォーラム」参加市長一同